



『うちの子知りませんか・・・。』

「今日は、3年ぶりの全校たてわり遠足です。みんなで力を合わせて楽しく過ごしましょう。それでは朝の挨拶をします。『おはようございます。』（お早うございまあす）」

元気に挨拶ができました。さて、6年生のお藩土にもあったように、今日は久しぶりの全校たてわり遠足です。1年生から6年生までと一緒に楽しく過ごせるといいですね。

そこで今日は、「うちの子知りませんか・・・。」という話をします。

もう5、6年前の今頃、全校遠足に出かける前のことです。さあ出かけようということで、各班が、ピロティのところに集合していた時のことです。6年生の班長さんが、大きな声で『うちの子知りませんかあ。』といいながら班のプラカードを上に挙げながらさがしまわっています。一生懸命に自分の班の、1年生をさがしまわっています。なかなか見つかりません。困った顔をしながら探して回ります。すると、昇降口の方から、先生に連れられてその子が出てきました。さがしまわっていた班長さんは、ほっとした顔をして走りよります。優しく手をつなぐと自分のグループに連れて行ってもう一度出席を確認していました。『うちの子…』って、まるでお母さんみたいですね。心配して面倒を見て・・・。

そのグループは、井草の森公園で、みんな仲良く楽しそうに遊ぶことができました。

大きくなるということは、こうやって自分より年下の子が増えること、だから、大きくなってできるようになったことをたくさん使って、年下の子たちのめんどうを見る。自分のやりたいことだけをしていけばいいのではなく、ちょっとの我慢したり、努力をしたりするなかで、年下の子や友だちのことを心配する。心を配る。思いやる。だからやってはいけないことや、やらなければいけないことも増えてくる。それが「自分も人も大切にすること。」「大きくなる」ということ。

これは、6年生だけのことではありません。1年生も2年生も、3年生も4年生も、そして5年生も、それぞれに今までに自分ができるようになったこと、いまできることを使って、誰もが一緒に楽しく過ごせるようにちょっとずつの思いやりや心配りを持つことで、みんなが元気に、なかよく、楽しく過ごせるはずです。

今日の全校遠足、みんなの力で楽しい一日にしましょう。

